

施工説明書

シャワートイレ PA シリーズ

<パブリック向けクイックタンク式便器専用品>

CW-PA21QE、CW-PA21LQE



この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客様に必ず本書・取扱説明書・保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

* 所有者登録の際、便器裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

* 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

お客様へ

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客様相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■ 快適機能の設定はお客様にお任せください。

シャワートイレの快適機能は、お客様の好みで設定する必要があります。もし、施工業者まで設定する場合は、お客様に設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に節電機能は、お客様が意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

-1-

快適機能とは

お客様にシャワートイレを快適にご利用いただけます。次のような機能が備わっています。

● 便座・温水の温度* ● 脱臭機能 ● 節電機能

● 便座ヒーター オート OFF

*：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。

* 機種によっては、一部機能がない場合があります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店に依頼ください。

● コンセントは AC100V、定格消費電力(310W)に適合したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。

すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。

● 定格消費電力に適合した配線を行ってください。

● 必ずアースターミナルは、D種接地工事に準じた工事を行ってください。アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。

● コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水の掛からない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。

● 必ず漏電遮断器を設置してください。(漏電保護プラグ無の場合)

シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず定格消費電力を考慮した最適な漏電遮断器(高速・高感度型 / 感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内)を設置してください。

* 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障するおそれがあります。

準備工具

● モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの)

またはスパナ類 (23 ~ 26mm)

● プラスドライバー

● マイナスドライバー

使用する水は？

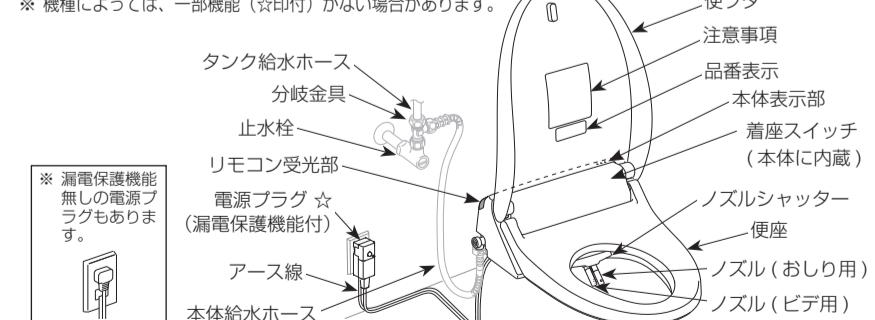
● 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。中水道や工業用水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。

● 給水圧力は 0.06MPa [0.6kgf/cm²] ~ 0.75MPa [7.5kgf/cm²] 必要です。

0.06MPa [0.6kgf/cm²] 未満の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。

各部のなまえ

* 機種によっては、一部機能 (☆印) がない場合があります。



* 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。



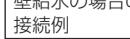
※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。



※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。



※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。



※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。



※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。



※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。

※ 漏電保護機能無しの電源プラグもあります。

1 フルオート便器洗浄ユニットの取付け

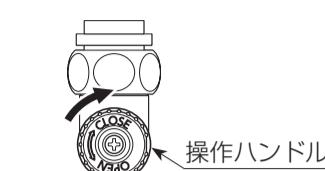
- フルオート便器洗浄ユニットに同梱されている専用の施工説明書に従って、フルオート便器洗浄ユニットを取り付ける。

2 分岐金具・シャワートイレ専用止水栓の取付け [注意 2-1 参照]

分岐金具の取付け（タンク用止水栓に接続する場合）

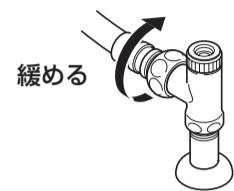
- タンク用止水栓が閉じていることを確認する。

止水栓のダイヤルが閉じているか確認します。操作ハンドルを180°回転することで開閉操作できます。



- タンク給水ホースを外す。

(1) 止水栓側の袋ナットを緩めます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



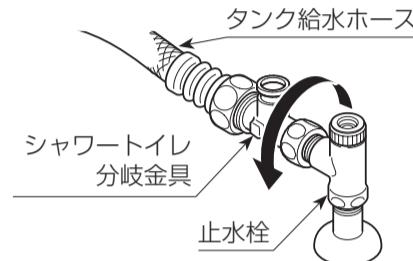
- 分岐金具をタンク給水ホースに取り付ける。

2. で取り外したパッキン（青：厚さ2mm）を入れて分岐金具をタンク給水ホースに取り付けます。
(締付トルク 20~25N·m {200~250kgf·cm})



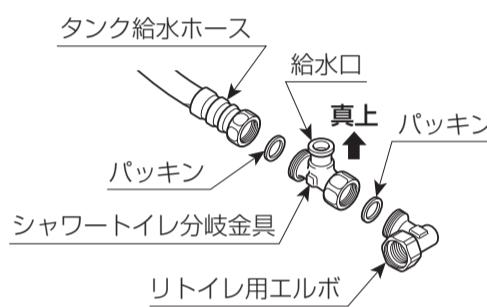
- 分岐金具を止水栓に取り付ける。

同梱のパッキン（青：厚さ2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 20~25N·m {200~250kgf·cm})



[リトイレ仕様の場合]

- 分岐金具をリトイレ用エルボに取り付けます。
※リトイレ仕様の場合は、別途手配するリトイレ置換セットに同梱の施工説明書もあわせて確認してください。



シャワートイレ専用止水栓の取付け

シャワートイレ専用止水栓を給水管に取り付ける。

- シャワートイレ専用止水栓のねじ部に、シールテープなどのシール材を巻きます。
- 壁面に取り出した給水管にシャワートイレ専用止水栓を取り付けます。

【注意 2-1】

- 本体給水ホースのOリングにキズを付けないように注意する。
※Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

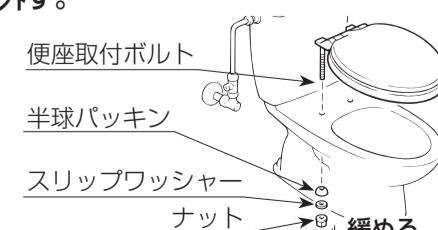
補足 1

既存の便座の取外し

[参考 3-1 参照]

■ボルト式の場合

- 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
- 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



【参考 3-1】

- 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

■さや式の場合

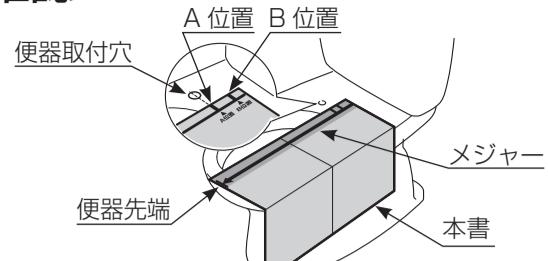
- 既存の便座を持ち上げて外す。
- さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。
- さや 2 本を便器から抜き取る。



3 便器の取付穴位置の確認

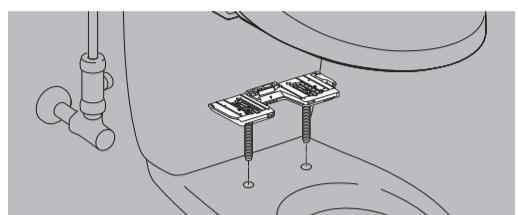
便器の取付穴位置を確認する。

- 本説明書端の「便器先端位置」と便器の先端を合わせ、便器取付穴の位置が「A位置」または「B位置」か確認します。
- ※メジャーは便器の中心に置いて測ってください。
- ※既存の便座を取り外す場合は、【補足1】をご覧ください。



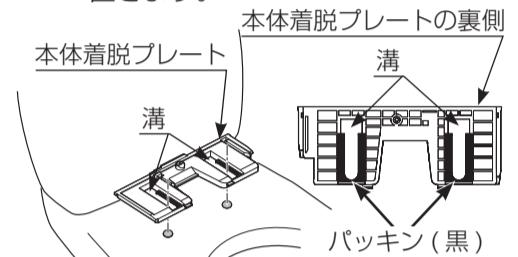
4 本体着脱プレートの取付け

必ず同梱の着脱プレートを取り付けてください。

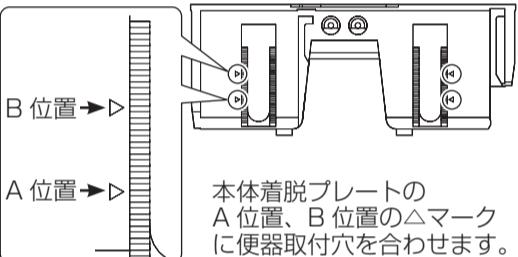


1. 本体着脱プレートを仮固定する。 【注意4-1 参照】

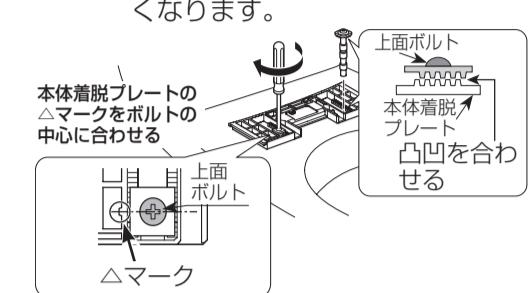
- ①本体着脱プレートのパッキン（黒）が付いている側を便器側に向けて、本体着脱プレートの左右の溝から便器取付穴の左右の穴が見えるように置きます。



- ②「③便器の取付穴位置を確認する」で確認した便器取付穴位置が「A位置」の場合は本体着脱プレートのA位置、「B位置」の場合は本体着脱プレートのB位置に便器取付穴を合わせます。



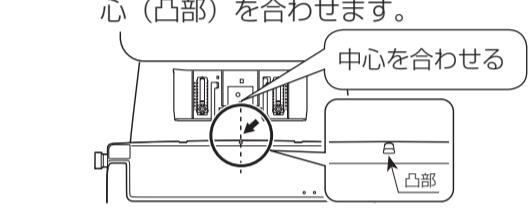
- ③上面ボルト2本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凹凸を合わせます。
※ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。



- ④ボルトが浮かないように、上から押しながら、着脱プレートがガタつかないように仮固定します。

2. シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する。 【注意4-2 参照】

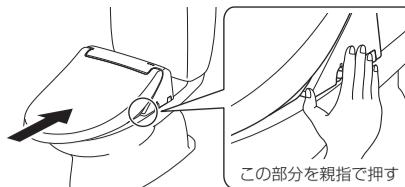
- ①本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
- ②本体着脱プレートの中心と本体の中心（凸部）を合わせます。



- ③本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。
※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなくなりません。

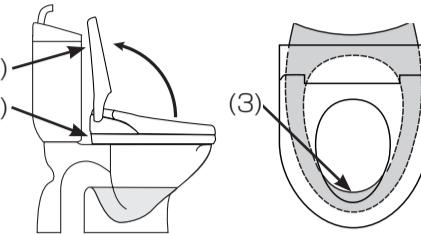
※感電や破損のおそれがあります。

-9-

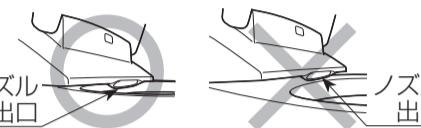


- ④以下の条件にあてはまる場合は、シャワートイレ本体を外して本体着脱プレートの位置を調整してください。

- (1) シャワートイレ本体の背面がタンクに当たっている
- (2) 便フタを開けると、便フタがタンクに当たり閉じてくる
- (3) 便器のフチが上から見えすぎている



- (4) ノズルの出口が、便器のフチに乗り上げたり、干渉したりしている。



※本体の外し方は本ページの「シャワートイレ本体の外し方」を参照してください。

※本体着脱プレートを調整する際は、A位置、B位置を目安に、上の条件が解消されるように調整してください。

3. シャワートイレ本体を外してから、上面ボルトをしっかりと締めて、本体着脱プレートを固定する。 【注意4-1 参照】 【注意4-2 参照】 【注意4-3 参照】

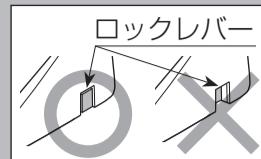
ボルトが浮かないように、上から押しながら、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。それ以上回らないことを、1~2回程度回して確認し、確実に締まっていることを確認してください。(締付トルク 1.0~3.0N·m{10~30kgf·cm})

※本体の固定が不十分だと、製品の取付け時にガタつくおそれがあります。

※本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。

【注意4-1】

- ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しづつ行う。
※締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。



【注意4-2】

- 本体右側にあるロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。
- ロックレバーが奥に入った状態では、本体と本体着脱プレートが固定されておらず、本体が便器から外れる可能性があります。
- 本体を奥に突き当たるまで押し込み、しっかり固定させてください。

【注意4-3】

- 電動ドライバーは使用しないでください。
※部品が破損するおそれがあります。

■ シャワートイレ本体の外し方

本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、手前に入力させます。



右図のようにシャワートイレ本体底部のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。



※コネクターはカチッと音がするまで、しっかり接続してください。

-10-

6 本体給水ホースの取付け

※止水栓が閉まっていることを確認してください。

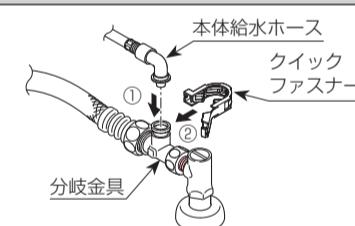
分岐金具に接続する場合（クイックファスナー接続）

- ①本体給水ホースを分岐金具に差し込みます。（右図①）
- ②クイックファスナーで固定します。（右図②）

【注意2-1 参照】 【注意5-4 参照】

※クイックファスナーに方向性はありません。

※取付後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、本体給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

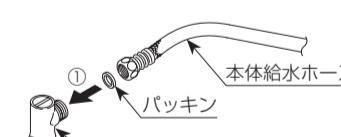


シャワートイレ専用止水栓に接続する場合

シャワートイレの給水位置：露出 ※袋ナット接続 CF-93-1-SET

- ①パッキン（青：厚さ2mm）を入れて本体給水ホースを取り付けます。（下図①）

- ②本体給水ホースの袋ナットをスパナなどでしっかりと締め付けます。（締付トルク 10~15N·m{100~150kgf·cm}）



シャワートイレの給水位置：隠れ ※クイックファスナー接続 CF-92-SET

- ①本体給水ホースを止水栓に差し込みます。（下図①）

- ②クイックファスナーで固定します。（下図②）

※クイックファスナーに方向性はありません。
※取付後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。

また、本体給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



7 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

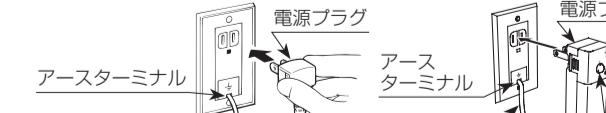
【注意7-1 参照】

- ①アース線を接続します。

- ②電源プラグを差し込みます。

※電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。

〈漏電保護機能付の場合〉



2. 電源が入っていることを確認する。

本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。

確認後は温水タンクの空気防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

（電源投入後40秒以内を目安にしてください。）

△ 警告



確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。

※コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意7-1】

〈漏電保護機能付の場合〉

- 機能部の電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。

※電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。

- リセットボタンを押しても電源ランプが点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200Vが通電していないかを確認する。

-11-

-12-

8 リモコンの位置決め・取付け

※機種によっては、リモコンが異なる場合があります。リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

9 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を元の位置まで開く。【注意 9-1 参照】

| 漏水確認 | チェック欄 | 確認内容 | |
|------|--------------------------|--------------------|--|
| | | | |
| | <input type="checkbox"/> | ①止水栓部および給水ホースとの接続部 | |
| | <input type="checkbox"/> | ②本体と給水ホースとの接続部 | |

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 9-2 参照】【注意 9-3 参照】

1. 電源が入っていることを確認する。

2. 便座を押し下げ、着座スイッチを入れる。



| 確認機能 | チェック欄 | 確認内容 | |
|--------|--------------------------|---|------------|
| | | | |
| おしりノズル | <input type="checkbox"/> | 1. ノズルから水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ②シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。 | おしり SHOWER |
| | <input type="checkbox"/> | 2. 【止】を押すと水が止まりますか？ | |
| ビデノズル | <input type="checkbox"/> | 1. ノズルから水が出ますか？ ①【ビデ】を押します。 ②シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。 | ビデ BIDET |
| | <input type="checkbox"/> | 2. 【止】を押すと、水が止まりますか？ | |

※シャワーが噴出するまでに約1~2分かかることがあります。

※シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が噴出するが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約15分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

| 確認機能 | チェック欄 | 確認内容 | |
|--------|--------------------------|---|------------|
| | | | |
| おしりノズル | <input type="checkbox"/> | 1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ②シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。 | おしり SHOWER |
| 暖房便座 | <input type="checkbox"/> | 2. 【止】を押すと温水が止まりますか？ | 便座 |

●便器洗浄は正常ですか？

1. リモコンの【流す】を押して、便器洗浄が確実に行われることを確認する。

●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。

2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2595）を手配して貼り付ける。

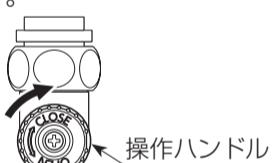
※貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

-13-

お客様にお渡しするまでに長期間使用しない場合、または凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。

止水栓のダイヤルが閉じているか確認します。操作ハンドルを180°回転することで開閉操作できます。



2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。

3. 電源プラグをコンセントから抜く。

4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。

あらかじめ水受け（約1L以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに90°回して外します。

※出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに90°回して確実に取り付けます。

6. 本体給水ホースから水を抜く。

【注意 10-1 参照】

①ストレーナーの下に洗面器などを置きます。

流水音（擬音装置）の設定〈壁リモコン（電池式）の場合〉

流水音の設定を変更することができます。

●オート擬音の設定変更

オート擬音ON時は、便座に座ると流水音が流れ、便座から立ち上がると停止します。（出荷時、オート擬音の設定はONになっています。）

1. 【温水温度】と【便座温度】と同じタイミングで6秒以上押した後、【流水音】を押す。

※セット完了時、本体表示部の電源ランプが、下記の回数だけ一瞬点滅します。

| オート擬音 | 表示ランプの点滅 |
|-------|----------|
| OFF | 1回 |
| ON | 2回 |

2. 設定したら【止】を1回押して完了する。

※設定中に【止】を押したり、1分間何もしなかった場合は、通常状態に戻り、設定ができなくなります。

●流水音の音量設定

出荷時は6段階中、4段階目に設定されています。

1. 【温水温度】と【便座温度】と同じタイミングで6秒以上押した後、【音量+】、【音量-】を押す。

※音量ボタンを押すたびに、音量が1段階変わります。音量は6段階から設定可能です。設定中の音量で流水音が流れますので、好みの音量に調節してください。

2. 設定したら【止】を1回押して完了する。

【注意 9-1】

- 止水栓を開けたままストレーナーを外さない。
※ストレーナー部から漏水します。

【注意 9-2】

- インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 9-3】

- 着座スイッチがあるため、おしゃり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

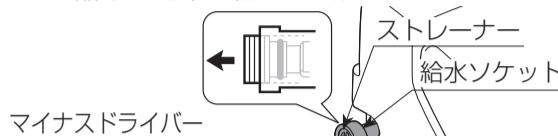
1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2. 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。

【注意 10-1 参照】

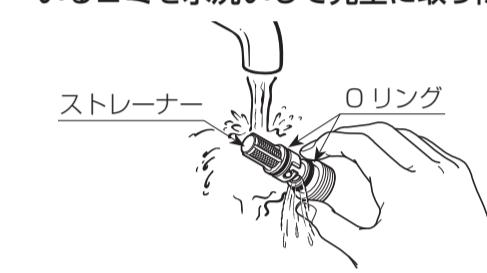
※このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



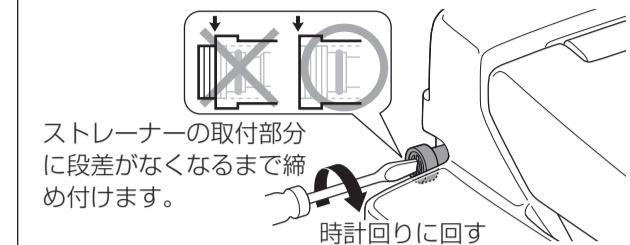
※工具が届かない場合は、本体を外してください。
※ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

【注意】
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3. 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く。



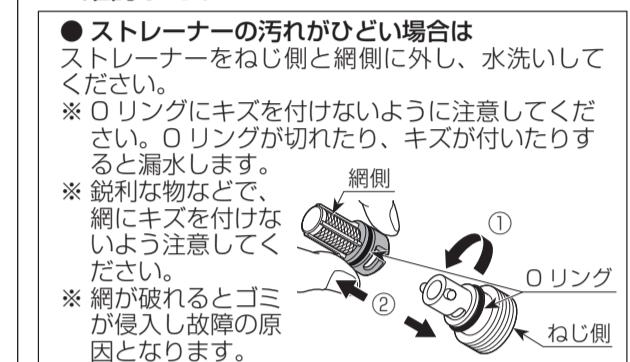
4. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。



【取付時の注意】
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

5. 「止水栓」を元の位置まで開く。

6. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。



●ストレーナーの汚れがひどい場合は
ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※鋭利な物などで、網にキズを付けないように注意してください。
※網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

【注意 10-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかりと閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。

※漏水し室内浸水の原因になります。

-14-

フルオート便器洗浄の設定変更〈壁リモコン（電池式）の場合〉について

フルオート便器洗浄の設定を、シャワートイレ本体で変更することができます。

■便器洗浄開始時間の変更

便座から立ち上がってから10秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を切り替えることができます。切替方法は下記の通りです。

①【便座温度】と【温水温度】と同じタイミングで6秒以上押したあと、【洗浄弱】と【節電】と同じタイミングで2秒以上押します。

同じ操作をするたびに、開始時間が10秒（お買い上げ時）→15秒→2秒→6秒→10秒…の順に切り替わります。

（セット完了時、本体表示部の電源ランプが、下記の回数だけ一瞬点滅します。）

| 設定時間 | 表示ランプの点滅 |
|-----------|----------|
| 2秒、6秒、15秒 | 1回 |
| 10秒 | 2回 |

②設定したら【止】を押して完了します。

■フルオート便器洗浄の入／切

便座から立ち上がってしばらくすると、自動的に便器洗浄を開始します。このフルオート便器洗浄を行わないようにすることができます。切替方法は下記の通りです。

①【便座温度】と【温水温度】と同じタイミングで6秒以上押したあと、【おしり】と【節電】と同じタイミングで2秒以上押します。

（セット完了時、本体表示部の電源ランプが、一瞬点滅します。）

※元に戻す場合も同じ方法で行います。

②設定したら【止】を押して完了します。

併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために〈壁リモコン（電池式）の場合〉

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し便器洗浄するおそれがあります。

このような場合は、シャワートイレ本体の洗浄信号（カスマムコード）を変更してください。

【注意】

- 着座スイッチが検知している状態ではセットできません。必ず座っていない状態でセットしてください。
(試運転ラベルが貼ってある場合は、はがしてセットしてください。)

1. リモコンの発信信号の変更